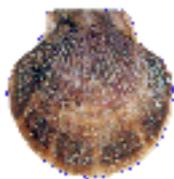


平成 24 年度ホタテガイ採苗情報（第 4 報）

平成 24 年 5 月 23 日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



県中南部でラーバ、付着稚貝数とも若干増加

< 調査結果の概要 >

- ラーバの出現数は、県北部で横這い～減少傾向、県中南部で増加傾向です。
- 試験採苗器の付着稚貝数は 0～28 個/袋でした。唐丹湾では前回より増加しましたが、まだ少ない状況です。
- 唐丹湾での試験採苗器による付着稚貝の 7 割が付着直後の稚貝でした。
- 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 10.2℃と、平年より若干高めとなっています。
- 付着盛期はもう少し先です。採苗器を投入する場合は、多めに準備し複数回に分けて投入を行ってください。

< 宮城県の状況（5 月 22 日発行気仙沼水産試験場速報） >

- 付着稚貝の数が増加してきたことから、採苗袋の投入を指示。

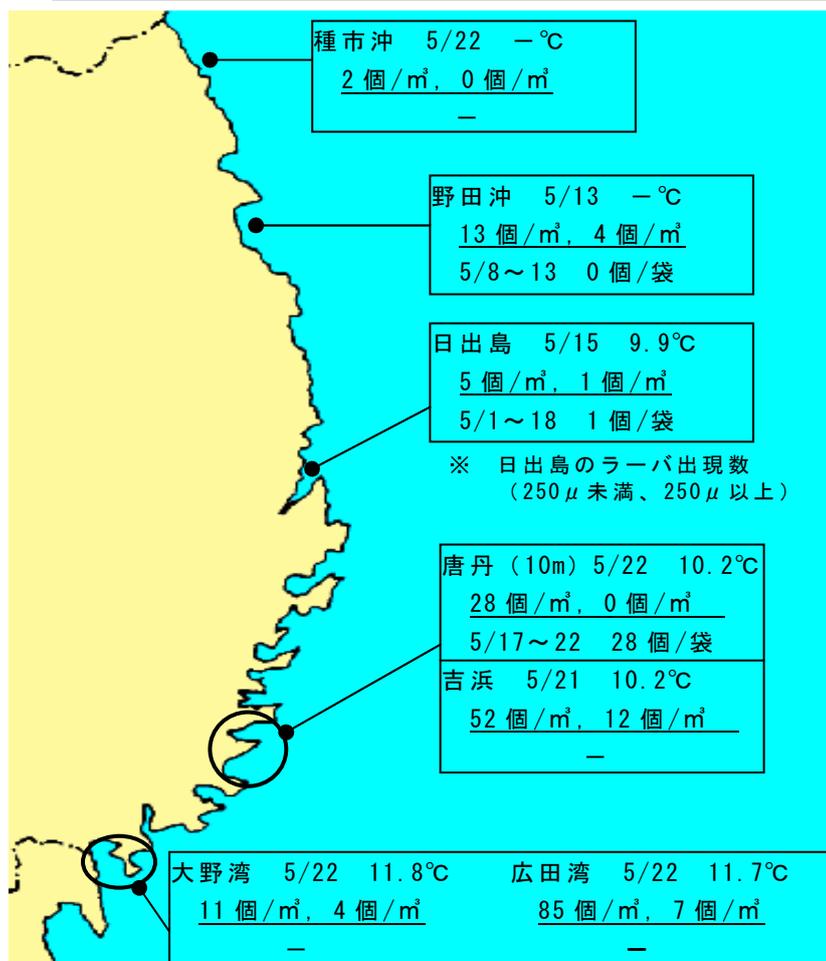


図 1 各定点の調査結果

調査点	調査日	10m層水温
ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)		
試験採苗器垂下期間		
付着稚貝数		

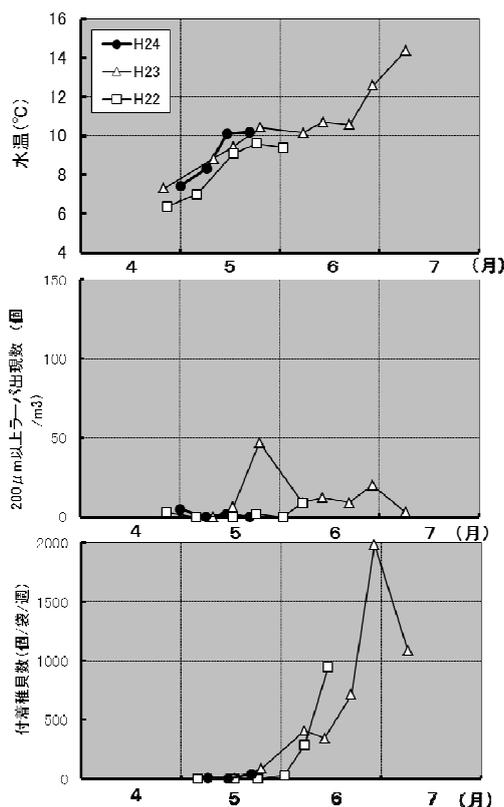


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、5 月 30 日に発行する予定です。